

2015年3月13日
株式会社コックス

お客さまのまごころをさくらの木に託し、新たに3本を寄贈

3/22 (日)、宮城県石巻市での「さくら並木プロジェクト植樹会」に参加します
支援対象商品の販売により、累計4本を東日本大震災の被災地に植樹



株式会社コックス（本社：東京都中央区日本橋浜町 1-2-1、代表取締役社長：吉竹英典）は、**2015年3月22日（日）、宮城県石巻市で開催される「さくら並木プロジェクト×オーガビッツ植樹会」**に参加します。この度の植樹会では、東北復興支援の一環として当社が参加する「さくら並木プロジェクト」へ**2014年度に寄付した支援額により、3本のさくらを植樹**いたします。

2014年度の寄付による当社のさくらの植樹本数は、累計4本となります。

■東北の未来のために、さくら並木の造成を支援します■

「さくら並木プロジェクト」は、津波被害の風化防止と、将来起こりうる津波発生時の避難目標とすることを目的に、**東北の津波到達地にさくらを植樹する、NPO 法人さくら並木ネットワークの取り組み**です。

当社はこの活動に賛同し、2014年より同プロジェクトに参加しています。**昨年初めて、当社の基幹ブランド「ikka」からオーガニックコットンブランド「orgabits（オーガビッツ）」を使用した、「さくら並木プロジェクト」の支援対象商品を発売**しました。多くのお客さまにお買い上げいただき、2014年度に販売額の一部、**約94,000円を同プロジェクトへ寄付**いたしました。この金額は**さくらの苗木4本分に相当し、昨年8月には宮城県仙台市へ1本を植えました**。この度の植樹会では**新たに3本の植樹**を行ないます。

当社は今後も、一日も早い東北復興に向け、ファッションを通じた支援活動を継続してまいります。

■植樹会概要■

この度の植樹会は、NPO 法人さくら並木ネットワークの主催で開催されます。**宮城県石巻市の高台に設けられた「誓いの丘」**で、地元の方をはじめ、ボランティアの方々と一緒に**約60本のさくらを植えます**。

日時	2015年3月22日（日）10時～15時
場所	石巻市北上町十三浜字菖蒲田 147 「誓いの丘」
植樹本数	約60本（うち当社寄贈3本）
主催	NPO 法人さくら並木ネットワーク
協賛	オーガビッツ
協力	（福）石巻市社会福祉協議会

※ご参加には、事前の申し込みが必要です。
詳しくはNPO 法人さくら並木ネットワークのホームページをご覧ください。



▲これまでの「さくら並木プロジェクト」植樹会の様子

ご参考

<コックスの東北復興支援の取り組み>

当社は、東日本大震災の被災地の一日も早い復興を願い、ファッション企業としてできる支援活動に取り組んでおります。今回植樹を行なう「**さくら並木プロジェクト**」へは2014年より参加しています。昨年、主幹ブランドの「ikka」より支援付き商品を販売し、本年も2月より、春向けの支援対象商品をメンズ・レディースそれぞれで発売しております。

また、震災時の津波により稲作などが困難になった農地において、「綿」の栽培から紡績・商品化・販売まで一貫して実施する「**東北コットンプロジェクト**」にも参加し、収穫した綿花から商品化された衣料品の販売をしています。

(株)コックスホームページ「私たちにできること」<http://www.cox-online.co.jp/ciqueto/action1.html>



※商品の一例



↑専用の下げ札が目印です

「ikka x さくら並木プロジェクト 2015」

商品例：オーガビッツ SAKURA メンズ パーカー

価格 4,800円 + 税

カラー ライトグレイ・ネイビー・ピンクホワイト

サイズ M・L・LL

特長

オーガニックコットン10%使用。

シンプルで合わせやすいコットンパーカー。

ピンクは派手すぎない「さくら色」です。

<さくら並木プロジェクト>

さくら並木プロジェクトは、東日本大震災の津波の到達地に、桜を植樹する活動で、NPO法人さくら並木ネットワークが行なっています。植樹した桜が美しい

並木となり、犠牲となった多くの方を鎮魂すること、

未来まで津波の被害を風化させないこと、

未来の津波発生時に避難の目標となって住民の命を守ること、

そして将来多くの人が訪れる観光地になり、被災地の経済復興支援となることを願い、

記憶に残るさくら並木の造成を目指しています。2012年春に植樹を開始し、福島県・宮城県・岩手県に現在まで

約2700本のさくらを植樹しています。昨年より始まった、オーガビッツ x さくら並木プロジェクトの取り組みは、

当社のブランド「ikka」をはじめ、様々なアパレルブランドが賛同・参加しています。昨年は東北の復興と経済支援を願い、

約17万枚の商品が製造・販売されました。<http://sakuranamiki.jpn.org/archives/4689.html>

NPO法人

さくら並木ネットワーク

100年後にTSUNAMIを伝えるために



<オーガビッツ>

日本で最も多くのアパレルブランドが参加するオーガニックコットン普及プロジェクト。オーガニックコットン100%にこだわらず10%の商品を100倍の人に届けるという「逆転の発想」で現在約90ブランドが参加し、年間約100万枚のアイテムを生産しています。その活動は原産国農家やNPO法人の支援へと拡大し、一枚の服を通してお洒落に参加出来る社会貢献活動としても輪が広がっています。

従来の栽培方法で生産されている綿花には、世界中で使用されている殺虫剤の約15%、農薬の約7%

が使用(*出典: Textile Exchange)されており、土壌汚染、環境問題等様々な問題を内包しています。一方、オーガニ

ックコットンとは、農薬や化学肥料を3年以上まったく使用していない農地で、有機栽培された綿花を指します。オーガニ

ックコットンの需要が高まることで、従来の栽培方法による綿花栽培が減少し、上記の問題が改善されていくことが期待

されます。<http://orgabits.com/>

